



Title	昭和51年度 学位授与・単位修得論文
Author(s)	
Citation	一橋研究, 2(1): 127-131
Issue Date	1977-06-30
Type	Departmental Bulletin Paper
Text Version	publisher
URL	<a href="http://doi.org/10.15057/6480">http://doi.org/10.15057/6480</a>
Right	

# 昭和51年度 学位授与・単位修得論文

## 昭和51年度 博士課程単位修得論文

### 商学研究科

石油化学用ナフサについての商品学的考察	守屋 晴雄	(岩城良次郎)
動態論の貨幣認識と貸借対照表の役割	新田 忠誓	(森田 哲弥)
マーケティング論の展開	相原 修	(田内 幸一)
集団意志決定参加者の権力と環境情報	一瀬 益夫	(宮川 公男)
取引貨幣需要に関する一考察	丹羽 明	(花輪 俊哉)
経営計画と情報処理	丹下 忠之	(宮川 公男)

### 経済学研究科

新貨幣数量説の基礎	清水 啓典	(宮沢 健一)
日本における所得格差の諸要因	吉岡 慎一	(溝口 敏行)
産業組織論序説	芹沢 数雄	(荒 憲治郎)
利子生み資本と商業信用	頭川 博	(青木外志夫)
広告支出政策と企業成長	松川 周二	(藤野正三郎)
景気循環と賃金・価格・利潤率——基礎的考察	滝田 和夫	(松石 勝彦)
投資・生産能力及び稼働水準の決定に関する諸問題	高橋 秀悦	(藤野正三郎)
M・カレツキ経済動学の基本性格	森 義隆	(種瀬 茂)
アントウェルペン国際商業の一断面	中沢 勝三	(山田 欣吾)
国際収支の貨幣的調整と財政金融政策	申 泳植	(江見 康一)
マルクスのリカード論	島田 稔夫	(種瀬 茂)
戦国大名領国の経済構造	池上 裕子	(永原 慶二)
分配の公正と所得・資産課税	小林 均	(大川 政三)
財政金融政策の相対的有效性	油井 雄二	(江見 康一)
Development of Money Market	タンオン・マンチャイトン	(大川 政三)

一 橋 研 究 第2巻第1号

計画経済への機能的接近法	久保庭真彰	(関 恒義)
石油化学産業研究	叶 芳和	(宮沢 健一)

法学研究科

過失犯における作為と不作為のモメント	都築 広己	(福田 平)
中国外交の政策決定研究	貫 芳祐	(細谷 千博)
米国の中国政策 1944—45	瀧田 賢治	(細谷 千博)
情報提供者の民事責任——とくに直接の情報受領者 以外の者に対する責任を中心として	岡 孝	(川井 健)
証明責任と証明軽減	春日偉知郎	(竹下 守夫)
ユストゥス・リプシウスの国家理念	山内 進	(勝田 有恒)

社会学研究科

1918—23年の時期におけるウェッブ夫妻の 社会主義像に関する一研究	岡 真人	(山田 秀雄)
自我の発達と社会・文化過程	草津 攻	(南 博)
ワロン情動論の構造	鈴木 一策	(鈴木 秀勇)
インドのハイダラーバード藩王国社会経済史序説 ——ニザーム体制の社会経済的基盤に関する一考察	吉田 光美	(山田 秀雄)
調整期の計画管理と生産価格論争	石原 享一	(増淵 竜夫)
マックス・アドラーの社会認識論	上野 卓郎	(良知 力)
マルクスにおける科学と生産	後藤 道夫	(岩崎 允胤)
譚嗣同試論	杉山 文彦	(西 順蔵)
ヘーゲルの「意識の経験」について	銭広 雅之	(鈴木 秀勇)
ビジネス・ユニオニズム論の再検討	高田 一夫	(津田 真徹)
メルロ・ポンティの他者論	田尻 康男	(南 博)
宣長の方法——その「古事記」理解の特質	平野 豊雄	(安丸 良夫)
香川県農民運動と普選第一回総選挙 ——1920年代政治史研究序説	横関 至	(藤原 彰)
明治時代における公教育制度の成立	ビビン・ハナビア	(津田 真徹)

亡命者政治の一断面——ゴットフリート・

キンケルと「ドイツ国民公債」	松岡 晋	(良知 力)
犠牲救国同盟会の発展と山西新軍事件	内田 知行	(増淵 竜夫)

## 昭和51年度 修士学位論文

### 商学研究科

SADモデルの研究開発	森 彰	(田内 幸一)
アメリカにおける持株会社企業連携発生史	西川 登	(藤津 清治)
不確実性と企業行動	堀内 正博	(宮川 公男)
都市自動車交通問題の一方法	旭 仁一	(地田 知平)
ワルブの貸借対照表論研究	瓶子 長幸	(森田 哲弥)
連結財務諸表作成の理論と技術	松永 裕人	(中村 忠)
ペイトン会計理論の発展史的研究(上・下)	伊藤 邦雄	(中村 忠)

### 経済学研究科

許容推定量について	渡辺実千雄	(鍋谷 清治)
経済成長に関する二つの代替的モデル	池尾 和人	(高須賀義博)
Size Distribution of Household Income and Economic Growth in Korea	金 都亨	(江見 康一)
独占段階における資本輸出の必然性について	田村 真治	(種瀬 茂)
K. W. カップの「社会的費用」論—その批判的検討	寺西 俊一	(種瀬 茂)
動学的企業理論——新古典派的接近 「株式会社と信用制度」	黒柳 達夫	(荒 憲治郎)
国鉄投資分析序論	花田 功一	(種瀬 茂)
銀行信用と再生産	馬場 義久	(江見 康一)
清朝前期・関外より関内への穀物移出について	木村 二郎	(種瀬 茂)
満州鉄鋼業と日本の総力戦体制	江夏 由樹	(中川 学)
富塚恐慌論研究	松本 俊郎	(中村 政則)
	長浦 建司	(高須賀義博)

A Study on the Policy of Bringing Agriculture towards

- Socialist Large-Scale Production in Vietnam グエン・ミンタン (宮鍋 幟)  
価値形態論の展開方法 齊藤 実男 (高須賀義博)  
米作技術と農民社会 —1960年タイ中央部  
における一研究— サムラン・チュート・アングン (石川 滋)  
Optimal Provision of Public Goods 佐藤 公敏 (塩野谷祐一)  
オーストリア国政史研究  
—13世紀オーストリアにおける貴族— 石橋秀一郎 (山田 欣吾)  
社会選択と分配の公正 菅原 晴之 (塩野谷祐一)  
豊臣期大名領国制の形成と朝鮮軍役 桜井 克己 (永原 慶二)

法学研究科

- 英米法における無罪推定の法理 融 祐子 (堀部 政男)  
イギリス猥褻法の歴史と現状 後藤 栄一 (堀部 政男)  
国際売買法と日本民法 阿部 賢 (川井 健)  
イギリスの閉鎖的会社  
—一私会社の歴史と法理を中心として— 今野 裕之 (喜多 了祐)  
日本・フランスにおける監査制度充実の方向 土橋 正 (堀口 亘)  
フランス1791年選挙法制の確立 伊藤 良弘 (杉原 泰雄)  
朝鮮半島の緊張と韓国の政策決定 金子 讓 (細谷 千博)  
イギリスにおけるプレスの自由 島崎 文彰 (堀部 政男)  
東南アジア地域連帯化への試み 首藤 素子 (細谷 千博)  
国際法における主権と国際裁判 西野 辰彦 (皆川 洸)  
チェコスロヴァキアの独立と干渉戦争 林 忠行 (細谷 千博)  
ヴァッテルにおける国家主権と国民主権 藤本 敬子 (杉原 泰雄)

社会学研究科

植民地前インドの土地所有論の一考察——

F・ベルニエとM・M・コヴァレフスキーの所論に基づいて

伊藤 章 (山田 秀雄)

ドイツゲンにおける認識論と歴史	針谷 寛	(良知 力)
華北抗日根拠地の形成と展開	井上 久士	(増淵 竜夫)
イギリスの海外鉄鉱山投資と酸性鋼生産：1870—1913年		
——古典的帝国主義期における産業資本輸出の一事例研究	尾上 修悟	(山田 秀雄)
アダム・スミスにおける市民社会と正義	返町 和久	(大野精三郎)
ヴィルヘルム・シュルツとマルクス	植村 邦彦	(古賀英三郎)
両大戦間期に於けるヴェトナム北部農村の地主制	菊池 道樹	(山田 秀雄)
ヘーゲル政治哲学の展開	紺野 馨	(鈴木 秀勇)
初期マルクスにおける分業論と社会把握の諸問題	佐藤 春吉	(岩崎 允胤)
マルクス主義美学試論	志田 昇	(岩崎 允胤)
「ことばの社会的研究」——その方法意識をたずねて	林 正寛	(田中 克彦)
アメリカ綿紡織業における地域間競争1881—1923年		
——南北間賃金格差の問題を中心に	曳野 孝	(津田 真澄)
第一次大戦後の日本重工業大経営労働運動		
——1920年八幡製鉄所の大争議	三宅 明正	(藤原 彰)
位置・回転に関わる非農業地代の研究	水岡不二雄	(竹内 啓一)
ヘーゲルの分析・総合論	吉田 正岳	(岩崎 允胤)
タイにおける近代化と教育	ウイチャイ・ピアンヌコチョン	(中川 学)
第一革命前夜のロシア社会民主労働党	加藤 雅子	(都築 忠七)